

## 二次(完成)原型仕上げ

### 二次(完成)原型脱型



型に粘土を入れた後充分日をおいたらいよいよ型から取り出します。  
スクレイパーなどを型の合わせ目に差し込み取り出してください。



接着不良の箇所がある場合は写真のように竹串などで少し隙間を広げ、ドベを入れて再度接着します。





脱型したら「受け(球を支える部分)」の穴を開けておきます。



肘と膝の球の径を測り芯は入れずに粘土で球を作ります。  
粘土の乾燥収縮(3%程)を入れ少し大きめに作ってください。  
他のパーツとともによく乾燥させます。





粘土が良く乾いたらナイフや木工用金やすり、サンドペーパーなどで形を仕上げていきます。  
細部はヘラやスパチュラなどで整えます。

別に作った球もノギス(マイクロメーター)で決めたサイズに調整します。



## 頭頂部開口



頭部の粗仕上げが終わったら頭頂部を切断します。  
写真3はトースカンという工具で台面から均一の高さを測ることができます。  
フリーハンドでカットラインを決めてもよいと思います。  
ただカットした断面が平面になるようにしてください。  
ラインに沿ってのこぎり等でカットします。



## 仮義眼取り付け

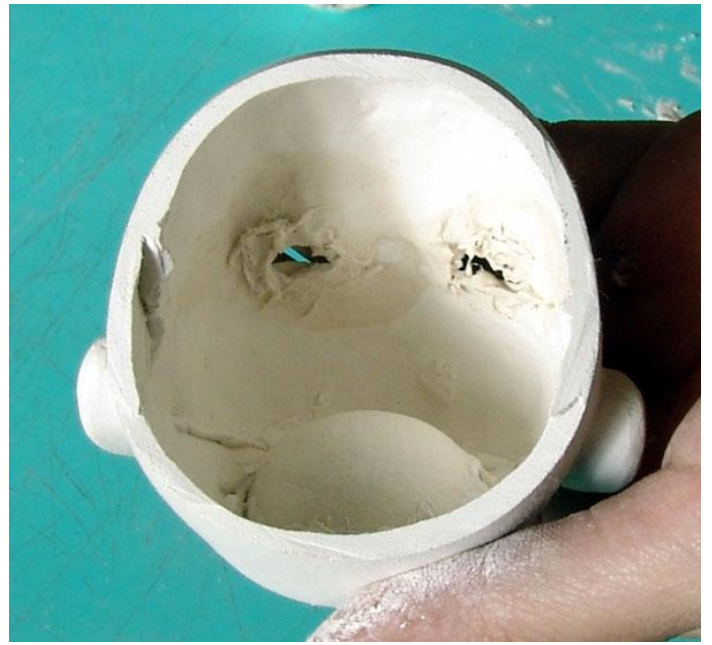


仮の義眼を入れるために目を開けます。、縁から刃を入れるとまぶたを壊すことがあるので、中心部 からV字型に切り、貫通したらその穴を広げるように縁まで広げます。目が開いたらアイサイザーや彫刻刀などで内側からまぶたを薄く削ります。



仮目の制作です。油土に適度なサイズの球を押し付け、石膏を流し込みます。この時の石膏には硬化を早めるために小さじ3分の1ほどの塩を入れます。





石膏が硬化したら目の内側にドベをつけ仮目を押し当てます。  
余分なドベは取り除き、さらに仮目全体をドベで被います。



## 頭頂部の蓋取り付け



ボール紙と画用紙を用意し、それぞれに頭頂部の輪郭を写しカットします。中心に印をしておくとい良いでしょう。



一定幅(1cm位)内側に鉛筆でラインを引きます。画用紙の方だけそのラインでカットします。



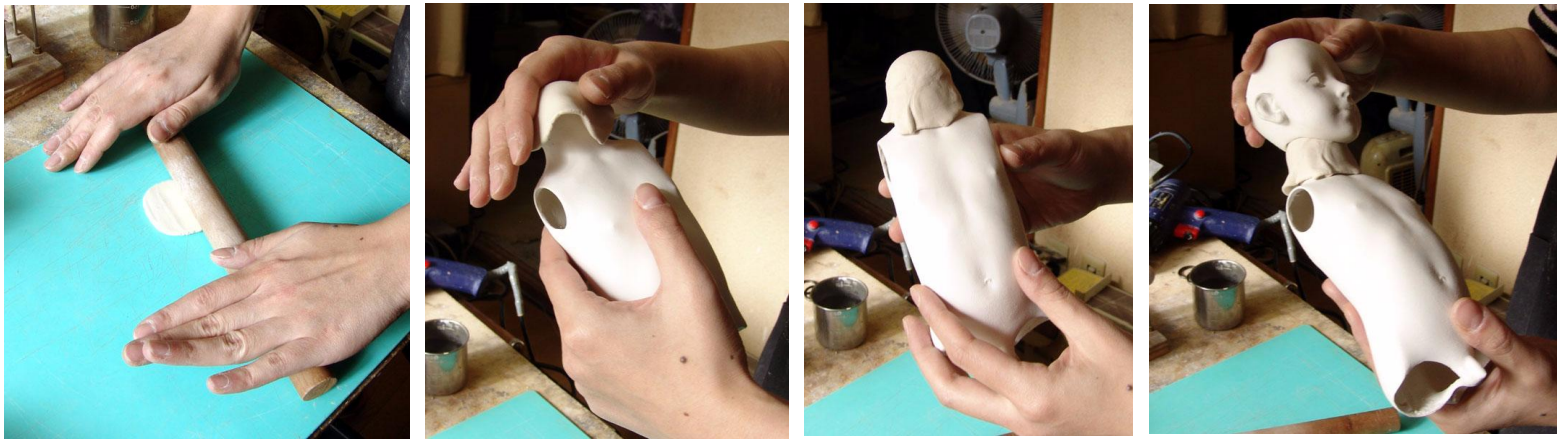
ゴム系の接着剤でボール紙に画用紙を貼り付けます。縁に浮きが出ないようにしてください。



頭部に蓋を貼り付けます。はみ出した部分はサンドペーパーやナイフなどで削り落とします。



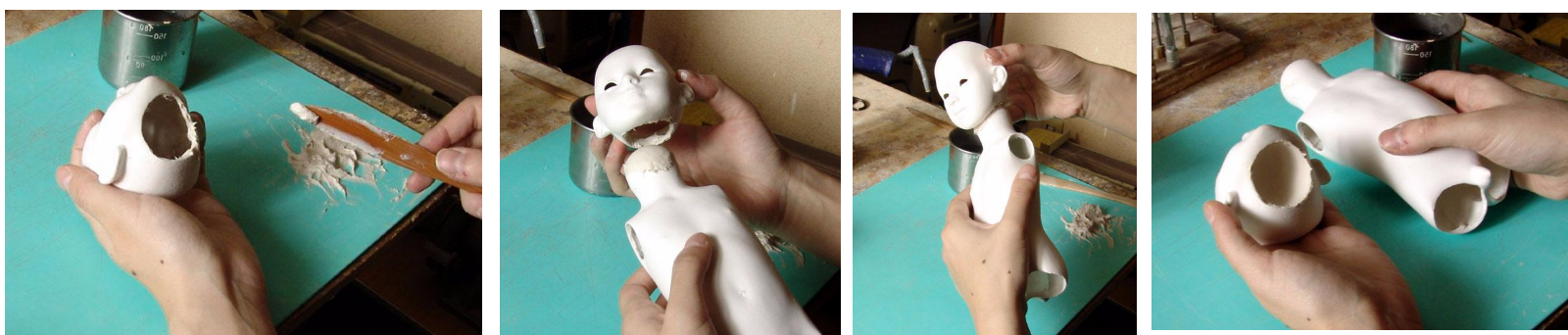
## 受けの取り付け



首の受けを作ります。粘土を薄く(2mm程度)に伸ばし、首に被せます。



頭をあてカットするラインをだします。  
ラインが出たらヘラで縦方向にカットします。



ドベを受け側へのせ、首の長さを見ながら頭の位置を調整します。  
位置が決まったら頭をはずすと受けができます。





腿の受けは脚を坐らせた状態で鉛筆でマーキングします。  
座らせた形で受け部に押し当てラインを出します。  
首の受けと同様に縦方向にカットしドベで付けます。



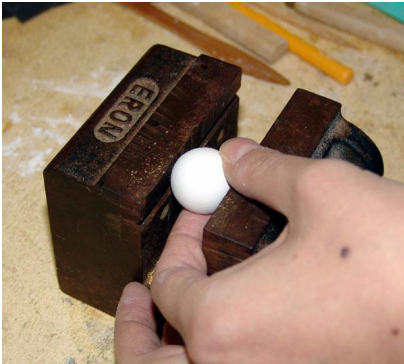


肩や手足首の受けも同様に作ります。





全体のバランスを確認したら、膝と肘を切り離します。



バイス(万力)などで球の中心を出します。



球の中心が関節の支点(角の位置)にくるように内側を丸刀で削ります。



ドベで球を接着します。この際に縁の厚みも調整しましょう。





肘膝も受けも他の箇所と同様に作ります。



肘、腿、膝の球には後から溝(スリット)を入れるため、あらかじめ印をして触ったときにかるく分かる 程度にヘラで溝をつけておきます。



二次(完成)原型仕上げ